

大会プログラム 第1日目：9月5日(金)

第1会場(1F 白のホール)

開会式

14:50～15:00

シンポジウム1

15:00～17:00

自殺のメディア表現をより深く考える

座長：高橋 あすみ（北星学園大学 社会福祉学部 心理学科）

竹島 正（大正大学地域構想研究所）

SY1-1 『若きウェルテルの悩み』は禁書にするべきか～自死報道を自己決定原則から考える

佐々木 央

共同通信社

SY1-2 自殺・自死報道の量と実態の深刻さは一致しない～報道は何を求められているのか～

渋谷 哲也

フリーライター

SY1-3 推しの死と生きづらさー臨床現場で向き合う子どものころ

河邊 憲太郎

愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座

SY1-4 有名人の自死をめぐる報道の考察とインターネットメディア協会の取り組み

小川 一

インターネットメディア協会／毎日新聞 客員編集委員

第2会場(2F 黒のスタジオ)

教育講演1

16:00～17:00

自殺(自死)予防介入のためのエビデンス：最新の研究成果から見る現在地と可能性

座長：川島 義高（明治大学 文学部 心理社会学科 臨床心理学専攻）

演者：米本 直裕（富山大学 医学部 医療統計学講座）

第3会場(2F 茶のスタジオ)

ゲートキーパー養成指導者研修会

15:00～17:30

オーガナイザー：大塚 耕太郎（岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座）

第4会場 (2F レセプションスペース)

心理職向け自殺予防と危機介入研修会

15:00～17:30

オーガナイザー：河西 千秋（札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座）

大会プログラム 第2日目：9月6日(土)

第1会場(1F 白のホール)

大会長講演

9:10～9:40

自死予防対策の二つの視点：絶望にある人への支援と、絶望に至らせないための支援

座長：張 賢徳（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

演者：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

齋藤友紀雄先生追悼シンポジウム

9:40～10:40

座長：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

MSY-1 齋藤先生との数々の出会いと思い（感謝をこめて）

橋本 治

日本学校心理士会 岐阜支部「いじめ問題担当」

MSY-2 齋藤友紀雄先生の業績と思い出

丸田 敏雅

聖徳大学保健センター

MSY-3 日本の自死予防のパイオニアから教わったこと

影山 隆之

大分県立看護科学大学 精神看護学研究室

MSY-4 齋藤友紀雄先生の自殺観

張 賢徳

国立精神神経医療研究センター 精神保健研究所

特別講演 1

10:50～11:50

自死予防を見据えた生物学的研究

座長：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

演者：大塚 郁夫（神戸大学大学院医学研究科 精神医学分野／高等学術研究院）

ランチョンセミナー 1

12:30～13:30

今、うつ病治療に求められるものーボルチオキセチンのプロバビリティー

座長：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

演者：國井 泰人（東北大学 災害科学国際研究所 災害精神医学分野）

共催：武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社

社員総会

13:40～14:10

がん患者の自死予防

座長：竹内 浩（日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 精神科）

森山 花鈴（南山大学社会倫理研究所）

SY2-1 総合病院でのがん患者の自死予防対策：がん治療チームと精神科リエゾンチームの連携

稲垣 正俊

島根大学 医学部 精神医学講座

SY2-2 がん患者の“気持ちのつらさ”の特徴と、静岡がんセンターの取り組み

杉本 達哉

静岡県立静岡がんセンター 腫瘍精神科

SY2-3 がん患者の自殺の実態と対策

藤森 麻衣子

国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部

シンポジウム3

地域医療と自死予防：地域でいきづらさに向き合う

座長：竹島 正（大正大学地域構想研究所）

細田 眞司（こころの診療所 細田クリニック／松江市医師会 会長）

SY3-1 松江市医師会と連携した自死対策の取組み

堀江 亜由美

松江市健康福祉部 健康推進課

SY3-2 地域精神科医療と自死総合対策 ～「にも包括」そして「まちづくり」の視点から～

坪内 健

社会医療法人正光会 松ヶ丘病院

SY3-3 大災害とこころのケア ～能登半島地震を経験して思うこと～

北村 立

石川県立こころの病院

SY3-4 宇和島の自死未遂者支援 ～つながりが生命をまもる～

渡部 三郎¹⁾、川中 真紀²⁾、末廣 瞳³⁾

1) 公益財団法人正光会 宇和島病院、2) 市立宇和島病院、

3) 宇和島保健所 健康増進課精神保健係／宇和島市役所

第2会場 (2F 黒のスタジオ)

シンポジウム4

10:50～12:20

ゲートキーパー研修の評価とエビデンス

座長：米本 直裕（富山大学 医学部 医療統計学講座）

SY4-1 国内外のゲートキーパー研修のエビデンス：システマティックレビューから得られた知見

川島 義高¹⁾、米本 直裕²⁾

1) 明治大学 文学部 心理社会学科 臨床心理学専攻、2) 富山大学 医学部 医療統計学講座

SY4-2 ゲートキーパー研修の国内外の動向と今後の展望

小高 真美

武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科

SY4-3 ゲートキーパー研修の実施と評価 – 自己効力感と知識の評価 –

高橋 あすみ

北星学園大学 社会福祉学部 心理学科

ランチョンセミナー2

12:30～13:30

若年者のうつと自死

座長：渡辺 憲（社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院 理事長・院長）

演者：安田 英彰（特定医療法人恵和会 石東病院）

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

教育講演2

14:40～15:40

学校でのトラウマインフォームドな自殺予防

座長：大舘 孝治（島根大学 医学部 精神医学講座）

演者：大岡 由佳（武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科）

教育講演3

15:50～16:50

過労死・過労自殺の労災認定事案からみた予防視点

座長：山内 貴史（東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座）

演者：吉川 徹（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター）

教育講演4

17:00～18:00

自死遺児支援 ～絵本を活用した寄り添い～

座長：森山 花鈴（南山大学社会倫理研究所）

演者：佐藤 まどか（特定非営利活動法人グリーフサポート・リヴ）

森山 花鈴（南山大学社会倫理研究所）

第3会場 (2F 茶のスタジオ)

ワークショップ

10:50~12:20

地域でいきづらさに向き合う

コーディネーター：竹島 正（大正大学地域構想研究所）
高井 美智子（埼玉医科大学 医学部 救急医学）
大塚 俊弘（長崎県精神医療センター）

広報委員会企画ワークショップ

14:40~16:40

自殺予防研究・支援の第一歩と未来を語る－初学者・若手のための交流座談会

コーディネーター：飯島 有哉（富山大学）
井上 佳祐（岡本病院・横浜市立大学）
岩澤 敦史（淑徳大学）
氏原 将奈（淑徳大学）
岡本 雄太（福岡大学）
古賀 佳樹（久里浜医療センター）
高橋 あすみ（北星学園大学）
田中 康雅（株式会社パパゲーノ）
話題提供者：川岡 和也（島根県健康福祉部 健康推進課）
岡本 雄太（福岡大学）

第4会場 (2F レセプションスペース)

理事会

8:10~9:00

新理事会

14:20~14:35

ポスター会場 (B1F アートギャラリー)

一般演題 (ポスター)

17:00~18:00

P-01 P-糖タンパク質の一塩基多型は自死／暴力的自死の影響因子の一つか？

○張羽 協義¹⁾、荻原 琢男²⁾、塚 正彦¹⁾

1) 金沢大学医薬保健学総合研究科 法医学、2) 東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 創薬資源開発学講座

- P-02 児童・青年期の希死念慮を生起させる心理社会的特徴と自死企図後の経過、回復過程の検討**
 ○高井 美智子¹⁾、喜屋武 玲子¹⁾、内藤 友介²⁾、松本 佳祐²⁾、川本 静香³⁾、小高 真美⁴⁾、川島 義高⁵⁾、滝澤 毅矢⁶⁾、上條 吉人¹⁾
 1) 埼玉医科大学 医学部 臨床中毒学、2) 埼玉医科大学 医学部 救急医学、3) 京都精華大学 共通教育機構、4) 武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科、5) 明治大学 文学部 心理社会学科、6) 埼玉工業大学 人間社会学部 心理学科
- P-03 日本語版Acquired Capability with Rehearsal for Suicide Scaleの開発と信頼性・妥当性の検討**
 ○飯島 有哉¹⁾、二宮 佳那²⁾、鴨田 卓巳³⁾
 1) 富山大学 学術研究部 人文科学系、2) 上智大学大学院総合人間科学研究科、3) 弘前大学医学部
- P-04 自傷・自殺企図者のリスク因子プロファイルに基づく探索的類型化の試み**
 ○翠川 晴彦¹⁾、松尾 真裕子²⁾、高橋 卓巳^{2,3)}、伊藤 結加里⁴⁾、八辻 拓⁵⁾、菅谷 瑛子⁶⁾、大徳 さな子⁷⁾、新井 哲明^{2,3)}、太刀川 弘和^{2,8)}
 1) 筑波大学附属病院 精神神経科、2) 筑波大学附属病院 精神医療・自殺対策連携センター、3) 筑波大学医学医療系臨床医学域 精神医学、4) 筑波大学大学院人間総合科学学術院、5) 茨城県立こころの医療センター、6) 筑波大学附属病院 看護部、7) 筑波大学附属病院 臨床心理部、8) 筑波大学医学医療系臨床医学域 災害・地域精神医学
- P-05 和歌山県立医科大学附属病院に搬送された自殺企図に関する後方視的調査**
 ○岡村 和哉¹⁾、魚谷 和史¹⁾、北内 京子¹⁾、桐村 直樹¹⁾、北野 陽大²⁾、福畠 カケイ¹⁾、増井 美咲¹⁾、蟬 奈央¹⁾、松岡 竜多¹⁾、山本 萌¹⁾、喜多 奈津子¹⁾、米満 尚史³⁾、井上 茂亮³⁾、田中 孝幸⁴⁾、瀬戸 桃子⁴⁾、川上 美琴⁴⁾、山本 紗羅⁴⁾、紀本 創兵¹⁾
 1) 和歌山県立医科大学 神経精神医学教室、2) 医療法人宮本病院、3) 和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座、4) 和歌山県立医科大学附属病院 看護部
- P-06 A病院の自死患者から見た自死リスク要因 –自死患者4例の後方的調査–**
 ○高橋 淳子、梅田 靖子
 総合病院聖隷浜松病院 看護部管理室
- P-07 激しい皮膚の損傷を体験したアトピー性皮膚炎患者が生きる意欲を取り戻すまで –自己理解の深まりと病の受容–**
 ○武藤 百合
 (一社) 日本臨床発達心理士会
- P-08 農村地域住民におけるライフイベントとしての離婚及び経済的困難と直近1か月間の自殺念慮の関連**
 ○宮本 翔平^{1,2)}、岩澤 敦史³⁾、丹治 史也^{1,4)}、飯倉 充美⁵⁾、齋藤 佑見子⁵⁾
 1) 秋田大学 自殺予防総合研究センター、2) NPO法人蜘蛛の糸、3) 淑徳大学 看護栄養学部 看護学科、4) 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 看護学講座 臨床看護学分野、5) 医療創生大学 国際看護学部
- P-09 大学生による中高生向けゲートキーパー養成の試み**
 ○小山 明日香¹⁾、城野 匡¹⁾、松本 千晴²⁾、早苗 友紀³⁾、甲木 咲衣⁴⁾
 1) 熊本学園大学 社会福祉学部、2) 熊本県立大学 総合管理学部、3) 熊本市こころの健康センター、4) 熊本県精神保健福祉センター

- P-10 自死未遂者への再企図予防のためのケースマネジメント実施体制の再構築に向けた取り組み
○狗巻 洋平^{1,2)}、和田 照平^{1,2)}、丹羽 篤²⁾、森本 拓頌²⁾、中田 翼²⁾、森長 篤史³⁾、森 一智²⁾、
橋本 衛²⁾
1) 近畿大学病院 患者支援センター、2) 近畿大学 医学部 精神神経科学教室、3) 医療法人養心会 国分病院
- P-11 児童思春期の自殺予防 OD 依存・薬物依存・自傷行動依存とスマホ依存の連環
○山田 和恵、山田 和夫
横浜尾上町クリニック
- P-12 AIチャットツールの自殺(自死)の危機介入スキルに関する研究
○米本 直裕¹⁾、川島 義高²⁾
1) 富山大学 医学部 医療統計学講座、2) 明治大学 文学部 心理社会学科 臨床心理学専攻
- P-13 訪問下簡易ゲートキーパー教育が及ぼす中高年住民への心理的影響：反復横断調査からみた自殺に対する見方の構造と変容
○播摩 優子、坂下 智恵、小山 陽香、眞口 良美、大山 博史
青森県立保健大学
- P-14 救急患者精神科継続支援における介入継続性に関する研究
○松村 里歩、昌川 安希子、石橋 竜太郎、津山 雄亮、成田 賢治、佐野 智章、河西 千秋
札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座
- P-15 病棟看護師による救急患者精神科継続支援の実態について－ケースシリーズ
○吉川 碧¹⁾、村井 珠美¹⁾、北村 愛実¹⁾、山野 晴香¹⁾、池原 実伸²⁾、山中 清里²⁾、角南 有香²⁾
1) 奈良県立医科大学附属病院 精神医療センター 看護部、2) 奈良県立医科大学 精神医学講座
- P-16 やまない雨はない・うつ病・それから：倉島厚さんの場合
○山田 和夫、山田 和恵
横浜尾上町クリニック
- P-17 抑うつを伴わない高齢者における希死念慮の予測因子：3年間の追跡調査
○一木 崇弘¹⁾、小山 明日香²⁾、長岡 舞子³⁾、今井 正城⁴⁾、西 良知⁵⁾、村上 良慈⁶⁾、藤瀬 昇^{1,7)}
1) 熊本大学病院 神経精神科、2) 熊本学園大学 社会福祉学部、3) 熊本大学 保健センター、
4) 荒尾こころの郷病院、5) 熊本県立こころの医療センター、6) 人吉こころのホスピタル、
7) 熊本大学病院 心理支援センター
- P-18 双極症自死例の死後脳における炎症関連遺伝子の発現変動と、東北精神疾患ブレインバンク生前登録システムにおける自死予防の取り組み
○旗野 将貴¹⁾、長岡 敦子^{1,2)}、細貝 優人¹⁾、宍戸 理紗¹⁾、日野 瑞城^{1,3)}、濱崎 英臣⁴⁾、柿田 明美⁴⁾、
富田 博秋^{2,3)}、國井 泰人^{1,2,3)}、三浦 至¹⁾
1) 福島県立医科大学 神経精神医学講座、2) 東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、
3) 東北大学 災害科学国際研究所 災害精神医学分野、4) 新潟大学 脳研究所
- P-19 奈良県総合医療センターに自死関連行動で救急搬送された児童思春期患者の実態調査
○神川 浩平、江川 彩香、本多 祐也、田村 猛、疇地 崇広、後藤 晴栄
奈良県総合医療センター 精神科

- P-20 故意の自損行為を行った患者の血液試料を用いた定性的分析：処方薬と検出薬の相違について
○増田 将人¹⁾、ウォーターズ ブライアン²⁾、後藤 玲央^{1,3)}、仲村 佳彦⁴⁾、加藤 禎史⁵⁾、鍋島 茂樹⁵⁾、久保 真一²⁾、衛藤 暢明¹⁾、川崎 弘詔¹⁾、堀 輝¹⁾
1) 福岡大学 医学部 精神医学教室、2) 福岡大学 医学部 法医学教室、
3) 福岡大学 医学部 精神医学教室 ニューロサイエンス・精神医学研究講座、
4) 福岡大学 医学部 救命救急医学講座、5) 福岡大学 医学部 総合診療部
- P-21 大阪市における2020年の自死者の用いた手段と特徴：コレスポンデンス分析の活用
○村上 龍^{1,2)}、守岡 大吾²⁾、福井 建皓²⁾、平出 敦²⁾、上久保 敦^{2,3)}、飯田 涼太¹⁾、黒木 尚長³⁾
1) 千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科、2) 明治国際医療大学 保健医療学部 救急救命学講座、
3) 大阪府監察医事務所
- P-22 全国パネルデータによる若年層の援助希求行動パターンに関する縦断分析 – COVID-19 前後の推移と特徴 –
○新井 崇弘^{1,2)}、高橋 義明³⁾
1) 多摩大学 経営情報学部、2) 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科、3) 明海大学 経済学部
- P-23 十勝地域の基幹病院に自死企図により搬送された自閉スペクトラム症の心理社会的特徴
○山崎 杏菜^{1,2)}、高橋 昌大¹⁾、佐藤 謙太郎¹⁾、河西 千秋²⁾、成田 賢治²⁾、古瀬 研吾^{1,2)}
1) JA北海道厚生連 帯広厚生病院 精神科、2) 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座
- P-24 日常生活下においてネガティブなコミュニケーションが負担感の知覚と所属感の減弱を介して希死念慮に及ぼす影響
○坂田 敦¹⁾、柳田 綾香¹⁾、熊野 宏昭²⁾
1) 早稲田大学大学院人間科学研究科、2) 早稲田大学人間科学学術院
- P-25 北海道の地域中核病院における若年自死企図搬送者の実態
○加藤 紘幹^{1,2)}、古俣 皓涼²⁾、佐野 智章²⁾、山崎 杏菜³⁾、石川 友香^{1,2)}、嶋田 進一郎¹⁾、古瀬 研吾³⁾、石橋 竜太郎²⁾、河西 千秋²⁾
1) 北見赤十字病院 神経精神科、2) 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座、3) 帯広厚生病院 精神科
- P-26 ポストベンションから始まる大学における自死予防
○正木 啓子、西谷 晋二
山梨大学大学院 総合研究部
- P-27 各職種における自死対策の知識習得度の実態
○西原 大樹、津山 雄亮、中島 弥哉子、成田 賢治、石橋 竜太郎、柏木 智則、河西 千秋
札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座
- P-28 自殺対策への新たな提案：～生きるのがしんどいあなたのためのWeb空間～ かくれてしまえばいいのです
○岩間 雄大、下野 精太、鈴木 洋平、松野 未佳、斎藤 理恵、木村 明美、横山 美鈴、清水 康之
特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク
- P-29 日本における自殺率とマクロ経済指標の因果関係に関する時系列分析
○武井 雄一
群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学教室

P-30 茨城県南地域の自損行為者の分析

○松尾 真裕子¹⁾、翠川 晴彦^{1,2)}、高橋 卓巳^{1,3)}、下条 信威^{1,4)}、井上 貴昭^{1,4)}、新井 哲明^{1,3)}、
太刀川 弘和^{1,5)}

1) 筑波大学附属病院 精神医療・自殺対策連携センター、2) 筑波大学附属病院 精神神経科、
3) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神医学、4) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 救急・集中治療医学、
5) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 災害・地域精神医学

P-31 自死対策におけるSNS相談の若年利用者の特徴「あいちこころのサポート相談」利用者データより

○日向 彩^{1,2)}、藤城 聡²⁾

1) 愛知県精神医療センター 精神科、2) 愛知県精神保健福祉センター

P-32 厚生労働省管轄下の自殺対策政策において、「原因」と「対策」はどのように結び付けられ、語られてきたのか？

○於 倩

東京大学人文社会系研究科 社会学研究室

P-33 SNS上での希死念慮表明投稿の状況とユーザーの心理の検討 - 1年間のXデータ解析を通して -

○茂木 麻由¹⁾、八斗 啓悟^{1,2)}、榎本 理沙¹⁾、秋山 海登¹⁾、菅原 大地³⁾、藤 桂³⁾

1) 筑波大学人間総合科学学術院、2) 日本学術振興会 特別研究員 DC2、3) 筑波大学 人間系

P-34 YouTube コメント欄に宿る「パパゲーノ」：著名人自死との時系列的関連

○竹林 由武

福島県立医科大学 医学部 健康リスクコミュニケーション学講座

P-35 希死念慮者の死生観の構造的把握 - 死生観調査の探索的相関分析から

○堀江 宗正

東京大学大学院人文社会系研究科

P-36 クライエントの自死を経験したソーシャルワーカーの心理的影響と支援ニーズに関する混合研究

○小高 真美¹⁾、引土 絵未²⁾、高井 美智子³⁾、呉 恩恵⁴⁾、大高 靖史⁵⁾、鈴木 あおい^{1,6)}、加藤 雅江⁶⁾

1) 武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科、2) 日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科、
3) 埼玉医科大学 医学部 臨床中毒学、4) 茨城キリスト教大学 生活科学部、5) 日本医科大学付属病院、
6) 杏林大学 保健学部 健康福祉学科

P-37 地域生活支援の過程で精神疾患患者の自死を経験した看護師の体験：質的研究

○西井 尚子^{1,2)}、遠藤 淑美³⁾、清水 安子⁴⁾

1) 三重県立看護大学 看護学部、2) 大阪大学大学院医学系研究科 博士後期課程、3) 鳥取看護大学大学院、
4) 大阪大学大学院医学系研究科

P-38 自死遺族専門外来を受診した経過について

○衛藤 暢明、増田 将人、原田 康平、吉村 裕太、堀 輝

福岡大学 医学部 精神医学教室

P-39 救急業務に従事する看護師における自殺予防に対する態度とバーンアウトとの関連

○岩澤 敦史¹⁾、宮本 翔平²⁾、原田 浩二¹⁾、丹野 正江¹⁾、高山 賢路³⁾

1) 淑徳大学 看護栄養学部 看護学科、2) 秋田大学自殺予防総合研究センター、
3) 秋田大学医学部附属病院 看護部

- P-40 看護師を対象とした自殺対策ゲートキーパー研修会の実施とその効果の検証
○丹羽 篤¹⁾、和田 照平^{1,2)}、美野 美香³⁾、竹久 志穂³⁾、林 真由美³⁾、頼友 和平³⁾、森本 拓頌¹⁾、
石田 静香¹⁾、柳 雅也¹⁾、辰巳 陽一⁴⁾、橋本 衛¹⁾
1) 近畿大学 医学部 精神神経科学教室、2) 近畿大学病院 患者支援センター、3) 近畿大学病院 看護部、
4) 近畿大学病院 医療安全対策部
- P-41 院内自殺予防と事後対応としての組織マネジメント・支援者ケア
○大高 靖史¹⁾、坂寄 健¹⁾、高野 亜希子²⁾、太田 美千代²⁾、館野 周¹⁾
1) 日本医科大学付属病院 精神神経科、2) 日本医科大学付属病院 看護部
- P-42 自死に対するスティグマと賛美／正常化が危機介入スキルと自死の原因帰属に与える影響：教職課程の大学生および大学院生を対象として
○原田 雅也¹⁾、石井 僚²⁾
1) ともこころのクリニック、2) 奈良教育大学
- P-43 援助要請意図の向上を目的としたメンタルヘルス・リテラシー教育の効果研究
○辻本 耐、森山 花鈴
南山大学社会倫理研究所
- P-44 福祉系大学における大学生ゲートキーパー養成 ～学内サークルによる養成から実践による相互作用～
○渡辺 和弘¹⁾、大門 俊樹²⁾
1) 特定非営利活動法人地域福祉推進事業団 いのちのほっとステーション、2) 東京福祉大学
- P-45 子どもの自殺再企図防止におけるスクールソーシャルワーカーのストレングス視点に基づく保護因子支援：多職種連携による介入モデルの探求
○金子 典子
日本社会事業大学大学院 博士後期課程 社会福祉学科
- P-46 こどもたちのSOSに対して実施したいのちの授業 ～小児の生命倫理的課題をともに考える～
○種市 尋宙¹⁾、高井 奈美²⁾
1) 富山大学附属病院 高岡・地域小児保健医療学講座、2) 富山市立西部中学校
- P-47 司法書士のゲートキーパー実践力の向上について ～島根県司法書士会が「自死対策」を考える取組みの第一歩～
○石倉 直樹¹⁾、長尾 陽介¹⁾、塩野 真弓¹⁾、濱田 なぎさ²⁾、植松 育子²⁾
1) 島根県司法書士会、2) 日本司法書士会連合会
- P-48 大学生の自傷行為に対する知識や経験と友人の自傷行為に抱く感情と援助行動の関連
○庭瀬 遥菜、高橋 あすみ
北星学園大学 社会福祉学部
- P-49 参加型啓発活動「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」の概要と展望
○李 紀慧、朴 惠善、堀口 泰代、後藤 凜子、北爪 愛子、半谷 まゆみ
一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター
- P-50 当院における急性薬物中毒患者対応時の精神科医師と連携した3症例の報告
○平松 俊紀¹⁾、石井 浩喜²⁾、井上 征雄¹⁾
1) 北九州市立八幡病院 救急科、2) 北九州市立八幡病院 精神科

大会プログラム 第3日目：9月7日(日)

第1会場(1F 白のホール)

教育講演5

8:30～9:30

中高生の自殺予防のためのITツール「RAMPS」を活用した学校での実践

座長：伊藤 次郎（特定非営利活動法人 OVA）

演者：北川 裕子（一般社団法人 RAMPS / 東京大学大学院教育学研究科）

教育講演6

9:40～10:20

自死予防における実装科学の役割

座長：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

演者：島津 太一（国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部）

特別講演2

10:30～11:30

若年女性の自殺予防 ～市販薬のオーバードーズ～

座長：藤城 聡（愛知県精神保健福祉センター）

演者：松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部）

ランチョンセミナー3

11:40～12:40

睡眠医学の最近のトピックス ～不眠症や悪夢を中心に～

座長：稲垣 正俊（島根大学 医学部 精神医学講座）

演者：谷口 充孝（大阪回生病院 睡眠医療センター）

共催：第一三共株式会社

閉会式

12:40～

第49回いのちの電話シンポジウム

13:30～16:40

孤独・孤立と自殺予防 ～いのちの電話相談員の役割～

司会：釜瀬 春隆（島根いのちの電話）

基調講演 世代別にみた孤独・孤立と自殺予防

原田 豊

鳥取県立精神保健福祉センター 所長／鳥取いのちの電話 継続研修委員&養成研修講師／島根いのちの電話 養成研修講師

LSY-1 孤独・孤立が気になるコーラーへの対応について - 電話相談員へのアンケートから -

釜瀬 春隆

島根いのちの電話 理事長

- LSY-2 家族が語るひきこもり ～地域をつくる～
日花 睦子
大阪虹の会／KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表
- LSY-3 ひきこもり相談を通して見た孤独・孤立
山本 恵子
とっとりひきこもり生活支援センター 理事長
- LSY-4 島根のひきこもり支援について
岡崎 四方
島根県立心と体の相談センター 所長

9月7日(日) 第2会場(2F 黒のスタジオ)

シンポジウム5

9:00～11:00

一般病院・精神科病院それぞれの自殺予防対策

座長：河西 千秋（札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座）
小山 達也（聖路加国際大学大学院 看護学研究科）

SY5-1 平川病院における自殺予防の取り組み

淵上 奈緒子
医療法人社団光生会 平川病院 心理療法科

SY5-2 ACTION-JP 研究：精神科病院における自殺未遂者の自殺再企図防止研究

石橋 竜太郎¹⁾、張 賢徳²⁾、杉山 直也³⁾、大塚 耕太郎⁴⁾、米本 直裕⁵⁾、佐野 智章¹⁾、古俣 皓涼¹⁾、河西 千秋¹⁾

1) 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座、2) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、
3) 沼津中央病院、4) 岩手医科大学 神経精神科学講座、5) 富山大学 医学部 医学科 医療統計学講座

SY5-3 埼玉医科大学国際医療センターにおける自死予防対策 ―精神科病棟を持たない、がん・心臓病・脳卒中専門治療病院における取り組み―

大西 秀樹
埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科

SY5-4 日本自殺予防学会による院内自殺予防と事後対応 (HOSP) 研修会

小山 達也
聖路加国際大学大学院 看護学研究科